

平成30年11月27日  
西部農林振興センター県央事務所 農業普及部

標 題 「エゴマの多収穫、品質向上と油・実・葉っぱの魅力」

(ダイジェスト)

11月19日、川本町において「エゴマ生産振興研修会」を開催しました。町内の生産者・加工関係者等はもちろんのこと、県内他産地を含めて89名の参加があり、日本エゴマ普及協会服部圭子会長の講演「エゴマの多収穫、品質向上と油・実・葉っぱの魅力」を熱心に聴講されました。

川本町では平成14年からエゴマ栽培が始まり、エゴマ生産者、加工・販売関係者及び行政等が連携して、生産者の確保、栽培面積の拡大、加工業者や飲食店等でのエゴマ商品の研究・開発、地産地消の推進、都市部での販路開拓、料理教室の開催、エゴマの機能性の調査など様々な取り組みを進め、今では栽培面積約20haに拡大してきました。

そうした中でマスコミにより川本町のエゴマが取り上げられたことをきっかけに、全国的にも知られるようになり、エゴマ油の需要が増しているところです。

そこで生産・加工・販売関係者及び行政が一丸となって諸般の課題に取り組んでいくために「川本町エゴマ振興協議会」が平成28年に発足し、‘オール川本’の合い言葉の下、「10a収量100kg」と「エゴマ関連商品販売額1億円」を目標に掲げた「エゴマ振興ビジョン」の策定が進められています。

この度、「川本町エゴマ振興協議会」として一丸となった一層の取り組みを推進するため、日本エゴマ普及協会会長服部圭子氏を講師として、「エゴマ生産振興研修会」を開催しました。

当日の講演は、次のような内容で事例を織り込み、熱く語られました。

- ◆健康のための油の選び方
- ◆エゴマ料理・食べ方
- ◆エゴマの栽培技術
- ◆収益を増やすエゴマの加工・販売



◆講演の様子



◆エゴマの料理・食べ方